

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

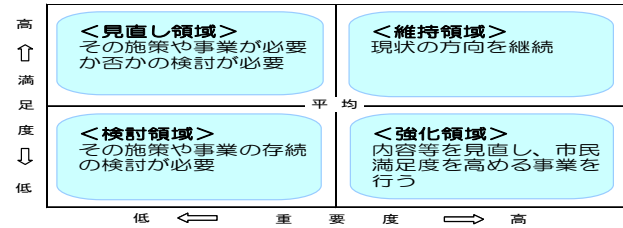
施策名 (小項目)	環境美化	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-02	森本和成	氏名	森本和成
			0869-64-1821・1822	電話	0869-64-1821・1822
			1.0	このシート作成に要した時間	1.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	02 自然と共生するまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	清潔で快適な暮らしを求める市民のため、関係団体との連携のなかで、快適な生活環境の保持と環境美化の推進を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	不法投棄等は年々減少しているものの、マナーの欠如によるポイ捨ては後を絶たないのが現状であり、関係団体と連携しながら、より一層環境美化を図る必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化活動の推進</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民から、公共マナーの向上を図るべきという意見があった。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21			H22	H28
成果指標 不法投棄の件数	目標	件	20	20	20		H22	20
	実績	件	31	26	25	不法投棄の件数を把握する	H23	20
	達成率	%	64.5	76.9	80.0		H28	20
	ベンチマーク						-	-
参考指標① 放置自転車撤去台数	目標	台	30	30	30		H22	30
	実績	台	35	46	20	放置自転車の撤去台数を把握する	H23	30
	達成率	%	85.7	65.2	150.0		H28	30
	ベンチマーク						-	-
参考指標② ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	目標	%	90.0	90.0	90.0		H22	90
	実績	%	87.3	87.5	89.1	市民意識調査結果	H23	90
	達成率	%	97.0	97.2	99.0		H28	90
	ベンチマーク						-	-
参考指標③	目標						H22	
	実績						H23	
	達成率	%					H28	
	ベンチマーク						-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆~☆	経費の性質 義務的 経常的 その他
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 放置自動車・自転車対策事業	C	放置自動車対策事業	単市	0			179	436	0.07	0	76	0.01	☆☆☆	経常的
		放置自転車対策事業	単市	0	869	0.11	0	569	0.10	0	384	0.06	☆☆☆	経常的
		使用済自動車等海上輸送費補助金	補助	0			0	58	0.01	3	0	0.00	☆☆	その他
2 環境衛生事業	B	環境衛生指導委員会事業	単市	2,815			3,702	2,473	0.31	3,709	2,263	0.26	☆☆☆	経常的
		環境衛生事業	単市	2,300			816	2,487	0.31	918	1,163	0.14	☆☆☆	経常的
		不法投棄処分事業	単市	119	8,795	1.01	298	1,173	0.16	173	1,347	0.17	☆☆☆☆	経常的
		個人墓地経営許可事業	単市				0	539	0.08	0	490	0.06	☆☆	経常的
		諸島地区汲取り支援事業	単市	108			47	0	0.00	99	0	0.00	☆☆☆	経常的
		諸島地区葬祭事業費補助金	単市	96			80	0	0.00	80	0	0.00	☆☆	経常的
		県環境衛生協会東備支部負担金	単市	402			402	0	0.00	402	0	0.00	☆☆	その他
		日生地区清掃支援事業	単市	61			70	0	0.00	0	0	0.00	☆☆☆☆	経常的
		東備食品衛生協会助成金	単市	100			80	0	0.00	80	0	0.00	☆☆	その他
		苦情処理事務	単市				0	0	0.00	0	831	0.10	☆	経常的
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				6,001	9,664	1.12	5,674	7,735	1.04	5,464	6,554	0.80		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	環境衛生指導委員会や市民のボランティア活動など、多くの市民が参画しており妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	環境美化の推進事業として適当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる反面、不法投棄の件数や放置自転車の撤去台数が増加しており、有効な対策を検討する必要がある。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		環境衛生指導委員と連携しながら、環境美化の推進を図ること。	
翌年度(H23年度)取組目標		地域の実情を考慮しつつ、環境美化の推進を図ること。	
二次評価者コメント		役職 市民生活部長 氏名 野上茂之 環境美化については、地域ぐるみで手軽に取り組めるよう、各種団体等の活動を通して推進を図っていく必要がある。防疫事業は、下水道事業の普及経過を考慮しつつ、見直しを検討して良く必要がある。	
		基本施策への貢献度 3 中立	